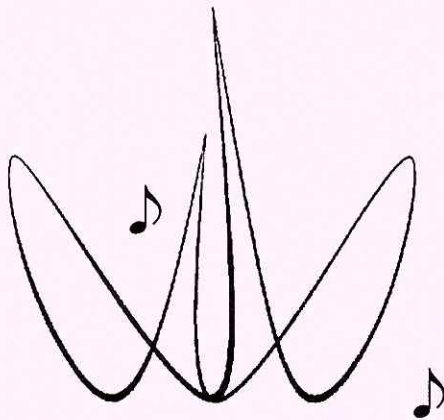


Sagamihara Mandolin Club

第 23 回定期演奏会



2007年10月28日(日) 14:00 開演

グリーンホール相模大野 大ホール

■ ご挨拶 ■

本日はご多忙の中、第23回定期演奏会にご来場いただき、誠に有難うございます。

当倶楽部の創部は1975年で、第1回演奏会を1977年県立相模原青少年会館で初めて開催し、早30年が経過致しました。この間の指揮者は延べ7名が務めて参りまして、出演回数も1～12回と多彩で、今回の指揮者は6回目のステージとなります。

私どもの倶楽部は、皆等しく、和を持ってマンドリン音楽に取り組み、指揮者の感性と倶楽部員の感性とをマッチさせるべく、一年間練習を重ねて参りました。

今回の指揮は、宮本皓永が全ステージを受け持ちますが、第2ステージの選曲に当たっては、故小林淳子前指揮者の意向が入っている曲となっております。部員一同その遺志を十分に引継ぎ演奏いたしますので最後までごゆっくりお聴き下さい。

尚、プログラムにアンケート用紙が挟んでありますので、今日のご感想をお書き下されば幸いです。宜しくお願いします。

部長 柳生 秀人



■ 活動レポート ■

- | | | |
|-------|------------|---------------------------------|
| 2006年 | 10月21日 (土) | 第22回定期演奏会 (グリーンホール相模大野) |
| | 12月 9日 (土) | 納会 |
| 2007年 | 3月 3日 (土) | 第18回大野中公民館まつり参加 (相模原市立大野中公民館) |
| | 4月29日 (日) | 第26回神奈川マンドリンフェスティバル参加 (横浜市栄公会堂) |
| | 5月22日 (火) | 大野中公民館ふれあい学級開級式演奏 (相模原市立大野中公民館) |
| | 5月26日 (土) | 2007年度定期総会 (相模原市立総合学習センター) |
| | 9月15日 (土) | 合宿 (ウェルサンピア多摩) |
| | ～16日 (日) | |
| | 10月20日 (土) | 強化練習 (グリーンホール相模大野) |
| | 10月28日 (日) | 第23回定期演奏会 (グリーンホール相模大野) |

《詳細はホームページ参照》



■ 演奏曲目 ■

第1部

指揮：宮本 皓永

喜歌劇「軽騎兵」より 序曲

作曲 F. V. スッペ
編曲 宮本 皓永

神々の饗宴

作曲 M. マチョッキ
補筆 宮本 皓永

ロマン的間奏曲

作曲 A. カッセルレッティ
補筆 宮本 皓永

歌劇「魔弾の射手」より 序曲

作曲 C. M. V. ウェーバー
編曲 宮本 皓永

—— 休憩 15分 ——

第2部

指揮：宮本 皓永

夢！うつつ！

作曲 U. ボッタキアーリ

ヴェニスの日

作曲 E. W. ネヴィン
編曲 中野 二郎

- I 黎明
- II ゴンドラ漕手たち
- III 愛の唄
- IV おやすみなさい

風の軌跡

作曲 小林 由直



■ 曲目紹介 ■

喜歌劇「軽騎兵」序曲 Die leichte Kavallerie

フランツ・フォン・スッペ
Franz Von Suppe

当倶楽部でも、かつて演奏した「詩人と農夫」と並んで有名なF. V. スッペ＝《これは通称で、非常に長いイタリア風な本名を持つオーストリア人》(1819～1895)の手になるオペレッタの本曲は、人々にとても親しまれており、一度は耳にした方も多いでしょう。

内容は軍隊生活を扱った愉快なもので、当時は成功した作品でしたが、今日では序曲だけが演奏され、劇の筋書きについては、はっきりしたものが残されていません。

進軍ラッパを想起させる序奏部から、やがて軽快な馬のひづめの音、また中間部ではあたかも戦友の死を悼むかのような哀調を含む旋律と明暗こもごもの調べをお楽しみ下さい。

尚、軽騎兵とは当時比較的軽い装備で敵の後方攪乱などに活躍する役割を担っていた部隊だそうです。

「神々の饗宴」 Le Festin des Dieux

マリオ・マチョッキ
Mario Machiocchi

M. マチョッキ(1874～1955)の作品は800を超えると言われています。「水車小屋の恋人達」「ミレーナ」「ミルタリア」「嘆きの天使」「セヴィラの空」そして「麦祭り」等々と挙げれば際限がなく、各団体があらゆる機会にあらゆる場所で、これらの作品を演奏しています。しかし、本曲「神々の饗宴」はJMU(日本マンドリン連盟)の演奏履歴調査(2002発行)によっても20年間でわずか4回という少なさです。

導入部の敬虔で神々しい荘重な響き、一転して軽快なリズム、随所に現れる優雅な旋律、重厚な終結部と他の作品では感じられない曲想がそこにあります。

わが国では今月10月を「神無月」と呼びます。一方、八百万の神が集まる出雲地方では「神有月」と呼んでいます。もしかしてその時に「神々の饗宴」が?しかし、マチョッキはローマの生まれ、実際は古代メソポタミアの「王と神々の饗宴」に思いを馳せたのでしょうか。

「ロマン的間奏曲」 Intermezzo Romantico

アルリーゴ・カッペルレッティ
Arrigo Cappelletti

本曲は1927年の作品です。「叙情的間奏曲」とも訳され、わが国では多くの団体に演奏されているこの曲は、各楽器の特色を十分に引き出した簡素なオーケストレーションで構成、その繊細で甘美な旋律は弾く人を堪能させ、聴く人を感動させてくれます。

作者のA. カッペルレッティ(1877～1946)はイタリアのコモの生まれです。当地でピアノ・対位法を学び、ボローニャ・ミラノと各地で合唱・作曲・吹奏楽法を修めて帰郷します。マンドリンオーケストラ"フローラ"(1892年創立)の初代指揮者となり、その後次々と作品を発表しました。

マンドリン曲としては「劇的序曲」や「フローラ」が有名ですが、生涯をマンドリン界で活躍していたにしては、不思議なことにその作品数は十指に満たず、そのほとんどがオルガン曲だったそうです。

歌劇「魔弾の射手」序曲 Der Freischütz

カール・マリア・フォン・ウェーバー
Carl Maria von Weber

C. M. V. ウェーバー(1786～1826)作曲のオペラとして1821年ベルリンで初演されました。尚、序曲単独としては、曲が完成した前年、10月にコペンハーゲンで初演されています。

当時はイタリアオペラが全盛でしたが、それまで従であったドイツオペラが彼の出現によりその影響を脱し、ドイツ的な国民歌劇が始まり、ワーグナーに至ってその華が咲いたと言われている。

ます。

オペラのあらすじは、射撃の腕前と引き換えに、ある時期、悪魔の誘いに乗ってしまった主人公が恋人の愛によって立ち直るというものです。

わが国では冒頭の部分が、唱歌「秋の夜半」として知られています。また、同様によく歌われている「狩人の合唱」も、このオペラの一部を構成しています。

マンドリン合奏としては、あまり演奏されておりませんが緊張感のあるシンコペーションの効果がよく表れているこの曲を、どうぞお楽しみ下さい。

「夢！うつつ！」

Sogno! Delirio!

ウーゴ・ボッタキアリ

Ugo Bottachiari

セレナータ・ロマンチコと副題の付く本曲は、夢と現実（うつつ）のはざま（間）を行きつ戻りつする、そんな不思議な空間をマンドリン音楽で見事に表現した叙情的な作品となっています。

イタリア・カテルライモンドで生まれたU. ボッタキアリ（1879～1944）はイタリア中部にある、当時P. マスカーニが指導していたロッシーニ音楽学院に学びます。オーケストラ・オペラ・室内楽・吹奏楽・声楽と多岐にわたった作曲活動の中で多くのマンドリン曲も発表しています。

代表的な作品としては「交響的前奏曲」「誓い」「愛の悪戯」「彷徨える霊」等々があります。お馴染みのマスカーニ作曲「仮面・序曲」はロッシーニ音楽学院時代に師の影響を受け、その後編曲したものと思われる。

「夢！うつつ！」本日は原曲通りピアノを加えて演奏します。

ヴェニスの一曰

Un Giorno in Venezia

エセルバート・ウッドブリッジ・ネヴィン

Ethelbelt Woodbridge Nevin

米国人のE. W. ネヴィン（1862～1901）がイタリア滞在中にピアノ曲として作曲したもので、いわゆる組曲ではなく、それぞれ独立したピアノ小品集として1891年に発表された曲の中から後年、中野二郎氏が4曲選んで編曲したものです。

以上の形態からみても本曲は「〇楽章」ではなく「第〇曲」とするのがよいでしょう。その巧みな編曲術はイタリアのマンドリンオリジナル曲だと言っても違和感がない雰囲気醸し出して、随所になんとも懐かしいイタリア民謡などを連想させる全体に美しい曲です。

他に中野氏がピアノ曲から編曲された曲はP. ラコムの組曲「ジプシーの乙女」があります。

尚、題名については今日ではジェノバ、ローマ、ナポリ、フィレンツェなど他の地名は通常イタリア語で表記されるので、当倶楽部でも「ヴェネツィアの一曰」あるいは「ある日のヴェネツィア」と改題しようかという意見もありましたが、編曲者の翻訳を尊重して英語表記のままとしました。

「風の軌跡」

小林 由直

この曲は1997年京都教育大学マンドリンクラブで初演されています。三重県で医学博士：内科医として勤めながら、一方で作曲や指導にと活躍中の作者（1962～）は、四日市高校在学中に作曲活動を始め、のちに1985年のJMU主催第4回作曲コンクールにて「北の地平線～マンドリンオーケストラの為の～」で第2位を受賞、その後もマンドリン音楽を多く手掛けています。

作者が、どの地方のどんな風に影響されたのかは不明ですが、ひとつの主題が異なる背景を受け、次から次へと場面が移り行く様は、あたかも「突風」「微風」「薫風」緑の木立を通り抜ける一陣の風、涼をとるそよ風のように緊張させ、興奮させ、和ませてくれます。

途中に複合拍子も加えて、急・緩・急・緩と変化の連続で、そこにある力強さと躍動感、文字通り「風の軌跡」を巡るようです。

「風」をタイトルにした作品は、この他に「海光る風」「風の舞曲」「風に見える時間（とき）」などがあります。

（文責 宮本皓永）

■ メンバー紹介 ■

Conductor 宮本 皓永

◎トップ
○サブトップ
☆賛助・友情出演

1st Mandolin

◎窪田 成子
○木田 絹子
饗庭 裕子
綾部 文子
石本 友子
梅澤 典子
金澤 葉子
川崎 紘子
中重亜由美
仁尾 真里
野沢 孝広
濱地すぎの
舟田 徳穂
吉野 昌重

2nd Mandolin

◎池田百合子
○渡辺 礼子
藍澤 桃子
大場 路子
大矢 利夫
桑田久美子
後藤ケイ子
田嶋 稔一
中井 顕成
長澤 直子
長沼美智子
樋口 三朗
樋口 忠雄
藤枝 春代
本田 博子
山崎 了三

Mandola Tenore

◎福谷 隆治
○大熊 友子
岡林 誠士
戸田 節子
笛木 和美
古田 栄治
峯田 福代
宮下 和子

Mandolon Cello

◎寺田美千代
○井上 昌子
飯田 正男
市川久美子
小山田正学
小澤健二郎
錦戸 民子
水野 和則

Guitar

◎中西 茂樹
○和田真紀子
池上 由子
加登 文子
田中 厚子
長沢 久美
新田美佐子
原田 治
比良 勤
宮本 紀子
柳生 秀人
吉田真紀子

Percussion

☆百瀬 充恵
☆小川 裕佳

Piano Forte

☆矢崎ひとみ

Contra Bass

◎錦戸 雅子
○鈴木 保彦
☆金澤 慶了
☆佐藤 文俊

司 会

ステージ・マネージャー

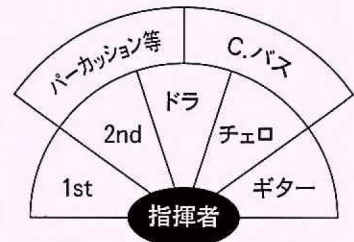
☆矢崎ひとみ

野沢 孝広
小山田正学
☆坂井 和彦

| | | | |
|--------|---------|--------|---------|
| 部 長 | : 柳生 秀人 | 技術委員長 | : 福谷 隆治 |
| マネージャー | : 梅澤 典子 | 技術副委員長 | : 原田 治 |
| | : 仁尾 真里 | | |
| | : 藤枝 春代 | | |
| | : 峯田 福代 | | |

『 相模原マンドリンオーケストラ・パート事情 』

1stマンドリン：派手でいいなと思ったら大間違い！…◎気 力
2ndマンドリン：練習しなくてもいいかと思ったら…◎忍耐力
マンドラ：良い処取り出来ていいなと思ったら…◎読解力
マンドロンチェロ：ヒマそうでいいなと思ったら…◎体 力
ギター：気楽そうでいいなと思ったら…◎集中力
コントラバス：大事にして貰えそうと思ったら…◎腕 力
指揮者：エラそうでいいなと思ったら…◎演技力



(ホントは◎発言力(>_<)!)

| | |
|------|----------------------------|
| 日時会場 | 未定 (11月開催予定 下記HPにてお知らせします) |
| 指 揮 | 国土潤一 宮本 皓永 |
| 曲 目 | 展覧会の絵 単楽章のシンフォニー 他 |

相模原マンドリン倶楽部 連絡先 柳生 秀人

ホームページ <http://www.geocities.jp/sagamiharamc/>